【主要指標推移】

	2011年度 第1四半期	2012年度 第1四半期	増　減
油価（USD/BBL）	110.7	106.4	▲4.3(4%の下落)
為替（YEN/USD）	81.7	80.2	▲1.5(2%の円高)
金利（%)TIBOR	0.34	0.34	±0

２０１２年８月２日
（三菱商事株式会社）

２０１２年度 第１四半期 連結決算（米国基準）

損益の状況

（単位:億円）

	2011年度 第1四半期 (リステート後)	2012年度 第1四半期	増減		2012年度 通期見通し	達成率
売上高	48,454	48,046	▲ 408		210,000	23%
売上総利益	**2,934**	**2,391**	**▲ 543** (19%の減益)	a	**12,500**	**19%**
販売費及び一般管理費	▲ 2,083	▲ 2,205	▲ 122	b	▲ 9,000	25%
貸倒引当金繰入額	▲ 9	▲ 10	▲ 1		▲ 100	10%
営業利益	**842**	**176**	**▲ 666** (79%の減益)		**3,400**	**5%**
利息尻	▲ 10	▲ 14	▲ 4	c	▲ 200	7%
受取配当金	337	472	135	c	1,250	38%
有価証券損益	25	▲ 4	▲ 29	d		
固定資産損益	0	▲ 10	▲ 10		450	37%
その他の損益	246	182	▲ 64	e		
税引前利益	**1,440**	**802**	**▲ 638**		**4,900**	**16%**
法人税等	▲ 625	▲ 218	407		▲ 1,800	12%
税引後利益	**815**	**584**	**▲ 231**		**3,100**	**19%**
持分法による投資損益	429	460	31	f	2,200	21%
非支配持分控除前当期純利益	**1,244**	**1,044**	**▲ 200**		**5,300**	**20%**
非支配持分	▲ 87	▲ 63	24		▲ 300	21%
当社株主に帰属する当期純利益	**1,157** (リステート前:1,150)	**981**	**▲ 176** (15%の減益)	g	**5,000**	**20%**
基礎収益	**1,607**	**1,104**	**▲ 503**		**6,750**	**16%**

前年同期比の増減

a.【売上総利益】(▲543)
豪州原料炭事業において、販売価格の下落、ストライキによる販売数量の減少などにより、売上総利益は減益となった。

b.【販売費及び一般管理費】(▲122)
事業拡大に伴う費用増などにより、販管費は負担増となった。

c.【金融収支】(＋131)
資源関連の受取配当金が増加したことから、金融収支は改善した。

d.【有価証券損益】(▲29)
①上場株式減損（※）
・・・ ▲30 ［ ▲4 → ▲34 ］
②不良資産関連損失
・・・ ▲5 ［ ▲8 → ▲13 ］
③その他株式売却損益等
・・・ ＋6 ［ ＋37 → ＋43 ］
（※）上場関連会社宛投資減損を含む

e.【その他の損益】(▲64)
為替関連損益の悪化などにより、その他の損益は悪化した。

f.【持分法による投資損益】(＋31)
海外の資源関連をはじめとする関連会社の業績が堅調に推移したことにより、持分法による投資損益は増加した。

g.【当社株主に帰属する当期純利益】(▲176)
資源関連の受取配当金が増加したものの、豪州原料炭事業における販売価格の下落、販売数量の減少などにより、減益となった。

(*1) 基礎収益＝営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)＋利息尻＋受取配当金＋持分法による投資損益

(*2) 売上高及び営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。
なお、ASCサブトピック605-45「収益認識-主たる代理人の報酬」に従って収益を表示すると、2011年度第1四半期実績は1兆4,033億円、2012年度第1四半期実績は1兆3,888億円となります。

(*3) 株式の追加取得により新たに持分法適用となった会社があるため、2011年度第1四半期実績を遡及的に調整しております。

バランスシートの状況

	2012年3月末	2012年6月末	前年度末比		2013年3月末見通し	6月末比
総資産	125,885	124,640	▲ 1,245	h	130,500	5,860
株主資本	35,093	34,460	▲ 633	i	38,500	4,040
有利子負債 GROSS	50,164	51,734	1,570		50,500	▲ 1,234
有利子負債 NET	36,474	38,142	1,668		38,500	358
（有利子負債倍率 GROSS）	(1.4倍)	(1.5倍)	(0.1倍)		(1.3倍)	(▲ 0.2倍)
（有利子負債倍率 NET）	(1.0倍)	(1.1倍)	(0.1倍)		(1.0倍)	(▲ 0.1倍)

2012年3月末比の増減

h.【総資産】(▲1,245)
投資の実行による有形固定資産や関連会社に対する投資の増加があったものの、上場株式の含み益減少や取引価格の下落による営業債権・債務減少により、総資産は減少した。

i.【株主資本】(▲633)
利益の積み上がりによる内部留保の増加があったものの、配当の支払い、上場株式の含み益の減少や円高に伴う為替換算調整勘定の悪化により、株主資本は減少した。

(*4) 有利子負債にはASCトピック815「デリバティブ取引およびヘッジ」の適用による影響額を含めておりません。

キャッシュフローの状況

	2011年度 第1四半期 (リステート後)	2012年度 第1四半期	
営業活動によるCF	1,490	344	… 子会社での営業収入及び資源関連を中心とした投資先からの配当収入があったことによる資金増
投資活動によるCF	▲ 827	▲ 1,711	… 資源関連子会社における設備投資、航空機や不動産の取得、及び関連会社への投資などの支出があったことによる資金減
フリーキャッシュフロー	663	▲ 1,367	
財務活動によるCF	▲ 392	1,290	… 配当の支払があったものの、主に新規投資に応じて資金調達を進めたことによる資金増
現金及び現金同等物の増減額	211	▲ 197	（2012年6月末残高 1兆2,333億円）